

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式					
AM14Z005		コミュニケーション学 (Communication Studies)					基礎分野科目 社会・経済		対面					
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態						
必修	1	1	医学部先進医療科学科	後期	水2	日本語		単独						
担当教員	氏名 上野 徳美													
	E-mail ueno@oita-u.ac.jp 内線													
授業の概要	コミュニケーション学の基礎的な知見や方法論について講義するとともに、医療・保健分野などにおける人間関係やコミュニケーションの実際問題について論考する。講義や討議、ロールプレイなどを通じて、患者・クライアントや医療スタッフとの相互理解と人間関係の構築・改善、さらにチーム医療などに有用なコミュニケーションスキルや視座を養う。													
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1 コミュニケーションの概念や働きを理解できる									○					
目標2 コミュニケーションの過程や要因、効果、多様性などについて理解できる									○					
目標3 円滑で有効なコミュニケーションのための知識とスキルを身につける								○	○					
目標4 自尊心と他職種連携のコミュニケーションスキルや方法論を身につける								○	○					
目標5														
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度(計10)								2	8					
授業の内容														
1 授業ガイダンス、コミュニケーション学とは、コミュニケーションとは														
2 他者理解とコミュニケーション														
3 心を開くコミュニケーション														
4 対人コミュニケーション1-言語と非言語コミュニケーション-														
5 対人コミュニケーション2-非言語コミュニケーションの役割、働き-														
6 コミュニケーションの技法-1-話を効果的に聴く技法-														
7 コミュニケーションの技法-2-話を効果的に聴く技法-														
8 自尊心のコミュニケーション1-アサーション-														
9 自尊心のコミュニケーション2-アサーション力の改善・向上-														
10 態度・行動の変容を促すコミュニケーション														
11 チームコミュニケーションとリーダーシップ、メンバーシップ1														
12 チームコミュニケーションとリーダーシップ、メンバーシップ2														
13 生活習慣病の予防・改善とヘルスコミュニケーション1														
14 生活習慣病の予防・改善とヘルスコミュニケーション2														
15 患者・病者を支えるコミュニケーション														
ラーニングログ	A:知識の定着・確認	○	小レポート、ミニッツペーパー				工夫その他の	自己理解のための心理検査・尺度の活用、 コミュニケーション技法の理解を促す 動画の活用など						
	B:意見の表現・交換	○	ミニッツペーパー、質疑応答											
	C:応用志向	○	ロールプレイ、集団討議											
	D:知識の活用・創造													
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修	参考書などをもとに予習する(10h)。												
	事後学修	配付資料や参考書をもとに復習する(13h)。												
	想定時間合計	23												
教科書	特定の教科書は使用しない。 授業中に配布する資料などを使用する。													
参考書	授業毎に参考書を数冊、紹介する。													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	筆記試験		80%	○	○	○	○						
	レポート		10%	○	○								
	ミニッツペーパー、授業への取り組み		10%	○	○								
上記の評価の割合は目安であり、総合的に評価する。													
注意事項	進行状況により、授業内容や順番を一部変更する場合がある。												
備考													
リンク													
	URL												
担当教員の 実務経験の有無	○												
教員の 実務経験	大分県立高等学校のスクールカウンセラー、大分産業保健総合支援センターのメンタルヘルス相談員												
実務経験を いかした教育内容	クライアントや患者とのコミュニケーションのとり方、傾聴の技法、メンタルヘルス支援の方法などに関する講義や実習も行う。												